

教育理念 「高い志 科学する心 未来を拓く力」



ローレル



県立日立第一高等学校
附属中学校
学校だよりNo. 74
平成30年3月16日
生徒数238名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。



君たちはAIに勝てるか（その2）

校長 村田 一弘

シンギュラリティと言って、2045年に人工知能（AI）が人間の知能を上回るだろう、現在ある半数近くの職業がAIやロボットに置き換えられ、そのため多くの人が職を失うだろう、代わりに新しい職業が生まれ、小学生たちは将来、現在はまだ存在していない職業に就くことになるだろう、などという予測が、多くの研究者によってなされています。社会の時間に、「産業革命」について勉強したと思いますが、皆さんは将来、似たような経験をするかもしれません。皆さんは、2045年頃、何をしているのでしょうか。職場では40歳の働き盛りで、家庭には小学生ぐらいのお子さんがいるかもしれません。

AIは本当に万能なのでしょうか。AIは、計算機なので、論理や統計・確率など、数値化されたデータを処理することは得意なのですが、データの意味を解釈するようなことは苦手です。例えば「昨日、山田と広島へ行った」という話を聞いたとき、大部分の日本人は、山田さんという人と広島という場所へ行ったのだと解釈すると思いますが、人工知能では、「山田」と「広島」が名詞であることは分かりますが、「山田」が人の名前で「広島」が場所の名前なのか、それとも「山田」と「広島」という2つの場所に行ったのか区別がつかいません。ですから、文章の意味をきちんとつかむことができれば、AIに十分対抗することができるのです。

そこで、前回、皆さんの基礎的読解力を調査しました。第1問と第2問は、AIでも80%以上正確に意味が理解できる文章、第3問から6問は、AIには理解が難しい文章だそうです。具体的に言うと、第1問は主語と述語の関係や修飾語と被修飾語の関係が分かっているかを調べる問題、第2問は、指示代名詞が何を指すかを調べる問題でした。第1問は、1・2年生で間違っている人が少し目につきましたが、ほとんどの人が正解していました。第3問は、2つの違った文を読み比べて意味が同じかどうか判定する問題で、これも皆さんできました。第4問は、文の構造を理解したうえで、生活体験や常識、様々な知識を総動員して意味を理解する問題です。エルブス（エルブルス、エリブルース）山はロシアのコーカサス地方にある高い山ですが、それを知らなくても「エベレストは世界一高い」という文章が正しいならばそれより高いことは論理的にあり得ないと考えるべきだと思います。5割以上の方が間違えており、どう考えたのか聞いてみたいところです。第5問は、文章と図形やグラフを比べて、内容が一致しているかどうかを認識する問題で、ほとんどの人ができましたが、第6問の定義を読んで具体例を認識する問題は、5割の人が間違えています。0は2で割り切れるかどうか判断できなかつた人がたくさんいたのは残念です。中学1年生の時に習っているはずですが、6問中4問以上正解している人がほとんどで、学年が上がるほど読解力が上がっていたので少し安心しましたが、逆に2問以下しか正解できなかった人もいて、その人たちの今後は大変心配です。一度、国語の先生に相談してください。AIが進化しても、きちんと読解力があれば、AIに使われる側に回らなくて済むと思います。例え失業するようなことがあっても、いろいろなテキストを読んで自分で勉強することができれば、新しい職も得やすいと思います。皆さんは、英語や数学の勉強に多くの時間を割いていると思いますが、遠い将来のことを考えると、しっかり国語を勉強して、きちんとした読解力を身につけることも、同じように大事だということを理解してください。

◇ 保護者の皆様へ

今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本日卒業する3年生には、日立一高でのさらなる飛躍を期待しております。1・2年生においては、先輩の築いてきた日立一高附属中をますます発展させ、活躍することを期待しております。